

95パーセントの負け

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この原稿を書いている時点では、連日オリンピックの話題で盛り上がっています。私は、2000年6月からこの巻頭挨拶を書いていますので、8回目のオリンピックネタです。一番の関心の浅田真央の演技はこの社内報が発行される時には、結



代表取締役社長 吉田治伸

果がでていると思いますが…、今大会の大きな話題の一つは、葛西選手の20年ぶりのメダル獲得でしょう。41才で7回目のオリンピック出場にて銀メダル獲得は、まさにレジェンドと呼ばれる快挙です。

スポーツの世界では、素晴らしく才能のある若い人間が毎年のように入ってきます。そんななか、20年以上にわたってトップ選手であり続けることは、ものすごく困難な事であります。その間、けがや所属会社の変更などがありながら、今回の快挙には、まさしく、たくさんの人の支援があったこともあるのだろうと、本人ではありませんが、日本という国に感謝してしまいます。

さて、その葛西選手のコメントに、「僕のジャンプ人生を振り返ってみれば、95%以上は負けているんです。でもその悔しさより、勝った時の嬉しさの方が数倍も数十倍も大きいんです。だからまたそれを味わいたくて続けているんです。」という言葉がありました。

私の人生も圧倒的に負けの方が多いです。負けるから成長があり、勝った時の喜びがあるといつも自分に納得しています。たくさんの思い通りにならない事をあきらめず、いつか来るであろう喜びを信じて今日を頑張りましょうか。そんな事を葛西選手から教えてもらいました。

まだまだ、寒い日が続きますが健康にご留意下さい。